

I N F O R M A T I O N

No.2026.04
2026年4月

検査内容変更のお知らせ

謹啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。
このたび、下記項目におきまして、検査内容の変更をご案内いたします。
健康と医療の未来に貢献すべく、より良い検査サービスのご提供に努めてまいります。

謹白

記

■変更日 2026年7月2日（木） ご依頼分より

■対象項目

次ページ以降の項目一覧をご参照ください



一般社団法人

福岡市医師会臨床検査センター

〒814-0001 福岡市早良区百道浜1丁目6番9号 TEL(092)852-1506 FAX(092)852-1511

■測定試薬の変更

変更内容につきましては、3～7頁をご参照ください。

検査項目 一覧 掲載頁	項目 コード	検 査 項 目	検査項目 一覧 掲載頁	項目 コード	検 査 項 目
42	3140	第Ⅷ因子様抗原(フォン・ウィルブランド因子抗原定量)	106	2773	ハプトグロビン
42	3122	フォン・ウィルブランド因子活性(リストセチンコファクター)	106	3615	ミオグロビン
未掲載	特伝	腓グルカゴン			

■有効材料の追加

変更内容につきましては、8頁をご参照ください。

検査項目 一覧 掲載頁	項目 コード	検 査 項 目	検査項目 一覧 掲載頁	項目 コード	検 査 項 目
未掲載	特伝	レニン濃度 (ARC) [CLEIA]	未掲載	特伝	アルドステロン [CLEIA] / レニン濃度比

■測定試薬の変更と有効材料の追加

変更内容につきましては、9頁をご参照ください。

検査項目 一覧 掲載頁	項目 コード	検 査 項 目	検査項目 一覧 掲載頁	項目 コード	検 査 項 目
未掲載	特伝	赤痢アミーバDNA 定性			

■基準値の変更

変更内容につきましては、9頁をご参照ください。

検査項目 一覧 掲載頁	項目 コード	検 査 項 目	検査項目 一覧 掲載頁	項目 コード	検 査 項 目
80	3320	酒石酸抵抗性酸性フォスファターゼ (TRACP-5b)			

■所要日数の変更

変更内容につきましては、9頁をご参照ください。

検査項目 一覧 掲載頁	項目 コード	検 査 項 目	検査項目 一覧 掲載頁	項目 コード	検 査 項 目
未掲載	3349	ブリーバラセタム	105	3609	α 2-マクログロブリン
未掲載	3606	α 1アシドグリコプロテイン			

■総合検査案内記載事項の変更

変更内容につきましては、10頁をご参照ください。

検査項目 一覧 掲載頁	項目 コード	検 査 項 目	検査項目 一覧 掲載頁	項目 コード	検 査 項 目
未掲載	特伝	EGFR変異解析v2.0			

■病理専門医の変更(検査委託先SRL社)

変更内容につきましては、10頁をご参照ください。

検査項目 一覧 掲載頁	項目 コード	検 査 項 目	検査項目 一覧 掲載頁	項目 コード	検 査 項 目
184	専依	エストロゲンレセプター (IHC)	未掲載	専依	乳癌HER2タンパク (IHC) 4B5
		プロゲステロンレセプター (IHC)	184	専依	乳癌HER2遺伝子 (FISH)
		エストロゲンレセプター/ プロゲステロンレセプター (IHC)			

● 第Ⅷ因子様抗原（フォン・ウィルブランド因子抗原定量）

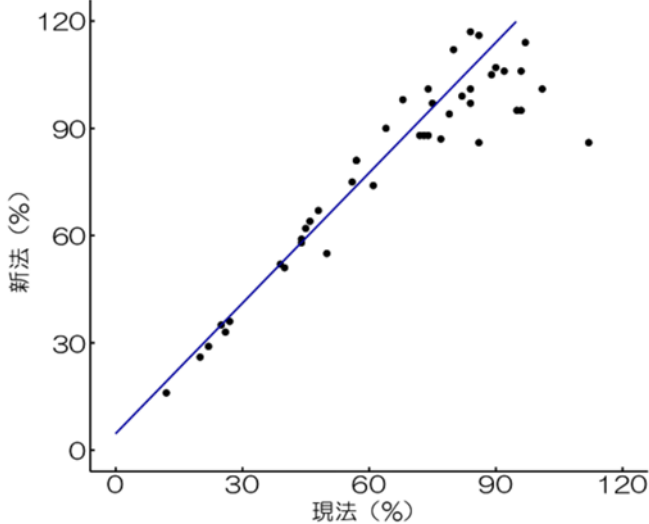
.....
 試薬販売終了のため測定試薬を変更します。これに伴い、検査方法名、基準値、報告範囲が変更となります。

検査項目一覧掲載頁	項目コード	検査項目	変更箇所	新	現
42	3140	第Ⅷ因子様抗原（フォン・ウィルブランド因子抗原定量）	項目コード	4854	3140
			項目名称	フォン・ウィルブランド因子抗原定量	第Ⅷ因子様抗原（フォン・ウィルブランド因子抗原定量）
			検体量	0.2 mL	同左
			検査方法	ラテックス免疫比濁法	ラテックス凝集反応
			基準値（単位）	非O型：66～176（%） O型：42～141（%）	50～155（%）
			報告範囲	9未満、9～999、1000以上	5以下、6～99900000
			報告桁数	有効3桁、整数8桁、小数0桁	有効3桁、整数8桁、小数0桁
			JLAC10コード	2B450-0000-022-062	同左
			参考文献	Stufano F. et al : Haemophilia 20 (1) : 147～153, 2014.	

▼ 相関図

フォン・ウィルブランド因子抗原定量

n = 100
 $Y = 1.215 X + 4.608$
 $r = 0.975$

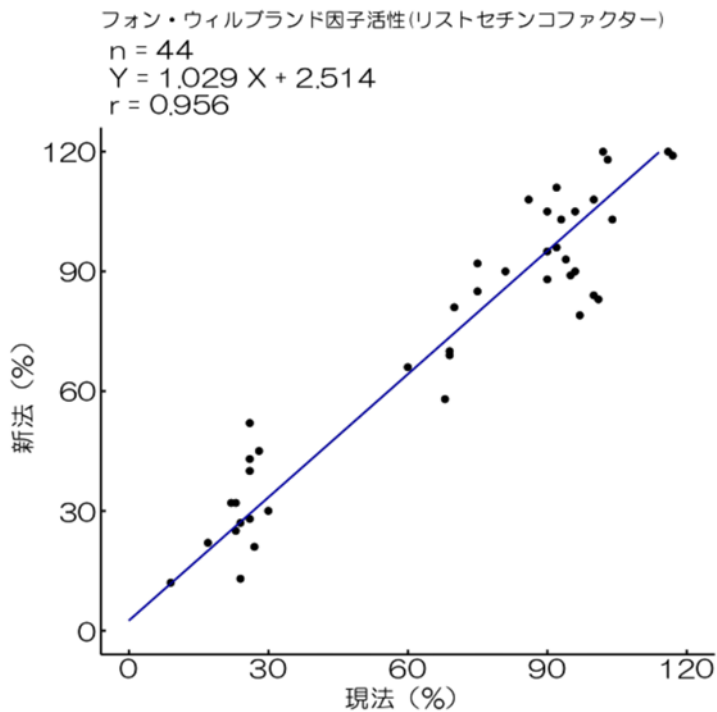


●フォン・ウィルブランド因子活性（リストセチンコファクター）

感受性が改善される測定試薬に変更します。これに伴い項目コード、項目名称、検査方法、基準値、報告範囲が変更となります。

検査項目一覧掲載頁	項目コード	検査項目	変更箇所	新	現
42	3122	フォン・ウィルブランド因子活性 (リストセチンコファクター)	項目コード	4855	3122
			項目名称	フォン・ウィルブランド因子活性 (リストセチンコファクター)	同左
			検体量	0.5 mL	同左
			検査方法	ラテックス免疫比濁法	固定血小板凝集法
			基準値 (単位)	非O型：61～240 (%) O型：48～202 (%)	60～170 (%)
			報告範囲	7未満、7～480、481以上	6以下、7～99900000
			報告桁数	有効3桁、整数8桁、小数0桁	同左
			JLAC10 コード	2B480-0000-022-062	2B480-0000-022-316
			参考文献	Stufano F. et al : Haemophilia 20 (1) : 147～153, 2014.	Macfarlane DE et al : Thrombos Diathes Haemorth 34 : 306～308, 1975.

▼相関図

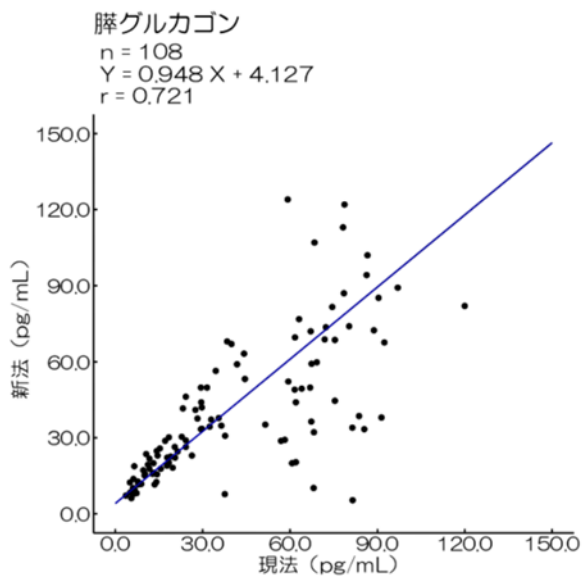


●膵グルカゴン

.....
 試薬販売終了のため、測定試薬を後継品に変更します。これに伴い、項目コード、基準値、報告範囲、報告桁数が変更となります。

検査項目 一覧 掲載頁	項目 コード	検査項目	変更箇所	新	現
未掲載	特伝	膵グルカゴン	項目コード	4851	特伝
			項目名称	膵グルカゴン	同左
			検体量	0.5 mL	同左
			検査方法	ELISA	同左
			基準値 (単位)	空腹時 8.8~45.2 (pg/mL)	空腹時 5.4~55.0 (pg/mL)
			報告範囲	3.0未満、3.0~1990、 2000以上	3.5未満、3.5~999999.9
			報告桁数	有効3桁、整数6桁、小数1桁	有効7桁、整数6桁、小数1桁
			備考	重 溶 指定の容器 (PAP) に採血し、よく混和させ、 <u>1時間以内</u> に低温 (4℃) で血漿分離し、 <u>ただちに凍結保存</u> してください。他項目との重複依頼は避けてください。溶血でのご依頼は避けてください。	指定の容器 (PAP) に採血し、よく混和させ、低温 (4℃) で血漿分離し、 <u>ただちに凍結保存</u> してください。
			JLAC10 コード	4G030-0000-022-023	同左
参考文献	北村 忠弘, 他: 医学と薬学 82(4) : 229~239, 2025.	稲垣 貴之, 他: 医学と薬学 72(3) : 491~497, 2015.			

▼相関図



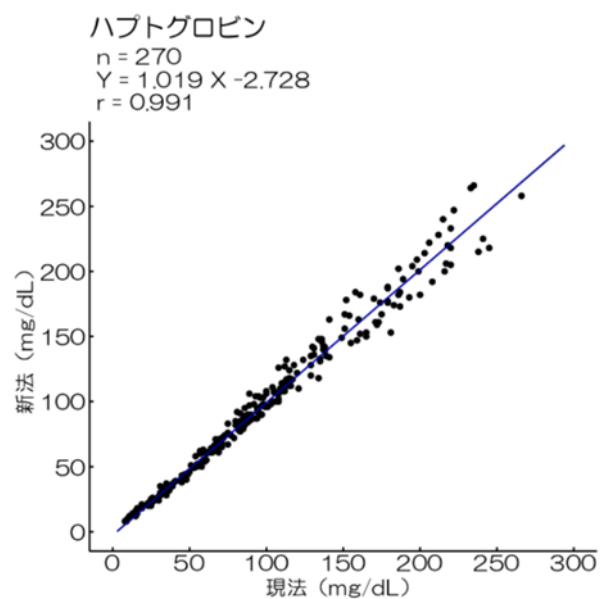
]

●ハプトグロビン

.....
 関連の良い測定試薬に変更します。これに伴い、項目名称、検査方法、項目構成、検体量が変更になります。

検査項目 一覧 掲載頁	項目 コード	検査項目	変更箇所	新	現
106	2773	ハプトグロビン	項目コード	2773	同左
			項目名称	ハプトグロビン（型判別）	ハプトグロビン
			報告名称	ハプトグロビン Hb濃度 Hb型判別	ハプトグロビン濃度 型
			検体量	0.6 mL	0.5 mL
			保存 (安定性)	冷蔵（28日）	冷蔵
			検査方法	TIA	ネフェロメトリー
			基準値 (単位)	1-1型 83~209 2-1型 66~218 2-2型 25~176 (mg/dL)	同左 (mg/dL)
			報告範囲	子1: Hb濃度 1未満、1~99900000 子2: Hb型判別 1-1型、2-1型、2-2型、 型判定不能	子1: ハプトグロビン濃度 10以下、11~999000 00 子2: 型 1-1型、2-1型、2-2型、 型判定不能
			報告桁数	子1: 有効3桁、整数8桁、小数0桁	同左
			JLAC10 コード	親: 5C040-0000-023- 061 子1: 5C040-0000-023- 061 子2: 5C040-0000-023- 061	親: 5C040-0000-023- -063 子1: 5C040-0000-023- -063 子2: 5C040-0000-023- -063
参考文献	伊藤 忠一: 検査と技術 22 (5) 増刊号: 42~43, 1994.	櫻林 郁之介, 他: 臨床病理 特53: 71~81, 1983.			

▼相関図

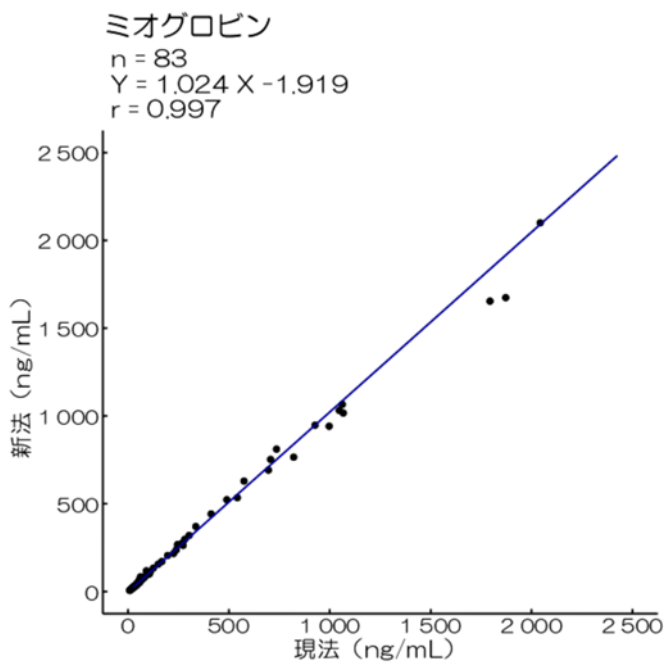


●ミオグロビン

.....
 関連の良い測定試薬に変更します。これに伴い、項目コード、検査方法、基準値、報告範囲、報告桁数
 が変更になります。

検査項目 一覧 掲載頁	項目 コード	検査項目	変更箇所	新	現
106	3615	ミオグロビン	項目コード	4861	3615
			項目名称	ミオグロビン	同左
			検体量	0.5 mL	同左
			検査方法	CLEIA	CLIA
			基準値 (単位)	男性：15.8~105.9 女性：10.5~70.0 (ng/mL)	男性：154.9以下 女性：106.0以下 (ng/mL)
			報告範囲	2.0未満、2.0~1999000、 2000000以上	1.0未満、1.0~9999000 0
			報告桁数	有効4桁、整数7桁、小数1桁	有効4桁、整数8桁、小数1桁
			JLAC10 コード	5C090-0000-023-052	5C090-0000-023-051
			参考文献	該当文献はありません	吉川 文雄,他：医学と薬学 37 (5) ：1243~1253, 1997.

▼相関図



●レニン濃度 (ARC) [CLEIA]

有効材料 (血清) を追加します。検査方法、保存 (安定性) は代表材料と同じです。代表材料 (血漿) に変更はありません。

検査項目 一覧 掲載頁	項目 コード	検査項目	変更箇所	新	現
未掲載	特伝	レニン濃度 (ARC) [CLEIA]	材料	血漿、血清	血漿
			検体量	血漿：0.5 mL 血清：0.5 mL	血漿：同左
			容器	血漿：③ (EDTA-2Na入り) 血清：① (分離剤入り)	血漿：同左
			基準値 (単位)	血漿：2.21~39.5 (pg/mL) 血清：2.21~39.5 (pg/mL)	血漿：同左
			JLAC10 コード	血漿：4Z020-0000-022-052 血清：4Z020-0000-023-052	血漿：同左

●アルドステロン [CLEIA] /レニン濃度比

有効材料 (血清) を追加します。検査方法、保存 (安定性) は代表材料と同じです。代表材料 (血漿) に変更はありません。

検査項目 一覧 掲載頁	項目 コード	検査項目	変更箇所	新	現
未掲載	特伝	アルドステロン [CLEIA] / レニン濃度比	材料	血漿、血清	血漿
			検体量	血漿：1.0 mL 血清：1.0 mL	血漿：同左
			容器	血漿：③ (EDTA-2Na入り) 血清：① (分離剤入り)	血漿：同左
			基準値 (単位)	アルドステロン (CLEIA) 血漿：4.0~82.1 (pg/mL) 血清：4.0~82.1 (pg/mL) レニン濃度 (CLEIA) 血漿：2.21~39.5 (pg/mL) 血清：2.21~39.5 (pg/mL) アルドステロン (C) /レニン濃度比 血漿：20未満 血清：20未満	血漿：同左
			JLAC10 コード	血漿：4Z122-0000-022-919 血清：4Z122-0000-023-919	血漿：同左

●赤痢アメーバDNA 定性

有効材料(膿)を追加します。検査方法は代表材料と同じです。代表材料(糞便)に変更はありません。

検査項目 一覧 掲載頁	項目 コード	検査項目	変更箇所	新	現
未掲載	特伝	赤痢アメーバ DNA 定性	材料	糞便、膿	糞便
			検体量	糞便：0.5 g 膿：0.7 mL	糞便：同左
			容器	糞便：③④(糞便容器) 膿：⑳(滅菌ポリスピッツ)	糞便：同左
			保存 (安定性)	糞便：凍結 膿：凍結(28日)	糞便：同左
			基準値 (単位)	糞便：(-) 膿：(-)	糞便：同左
			JLAC10 コード	糞便：6B637-0000-015-851 膿：6B637-0000-086-851	糞便：同左

酒石酸抵抗性酸性フォスファターゼ (TRACP-5b)

ガイドラインに従った試薬添付文書記載の基準値の変更に伴い変更いたします。

検査項目 一覧 掲載頁	項目 コード	検査項目	変更箇所	新	現
80	3320	酒石酸抵抗性 酸性フォスファターゼ (TRACP-5b)	基準値 (単位)	男性：170~590 女性：閉経前120~420 閉経後250~770 (mU/dL)	男性：同左 女性：(YAM)120~420 (mU/dL)
			備考	(掲載削除)	YAM：若年者成人平均値 女性の基準値は、健常閉経 前女性(30~44歳)で 確立された平均±1.96 標準偏差の範囲として おります。なお、閉経後女性 にも適用されます。 ※1

●ブリーバラセタム 他2項目

所要日数を変更いたします。

検査項目 一覧 掲載頁	項目 コード	検査項目	変更箇所	新	現
未掲載	3349	ブリーバラセタム	所要日数	4~6日	4~10日
未掲載	3606	α1アシドグリコプロテイン	所要日数	3~6日	3~5日
105	3609	α2-マクログロブリン	所要日数	3~6日	3~5日

●EGFR変異解析v2.0

「容器の取り扱い方法」および備考について、試薬添付文書に合わせた内容に変更いたします。

検査項目 一覧 掲載頁	項目 コード	検査項目	変更	新	現
未掲載	特伝	EGFR変異解析v2.0	容器取り 扱い方法	<p>●未染標本スライドについて 採取された組織は速やかに10%中性緩衝ホルマリン溶液に浸漬し、固定を行ってください（推奨固定時間は6～48時間）。12ヵ月以内に作製したホルマリン固定パラフィン包埋（FFPE）ブロックより指定の厚さにて連続切片を作製し、<u>薄切後60日以内にご提出ください。</u></p>	<p>●未染標本スライドについて 採取された組織は速やかに10%中性緩衝ホルマリン溶液に浸漬し、固定を行ってください（推奨固定時間は6～48時間）。ご提出の際には、可能な限り3年以内に作製したホルマリン固定パラフィン包埋（FFPE）ブロックより、指定の厚さにて連続切片を作製してください。</p>

●病理専門医の変更（検査委託先 SRL 社）

病理専門医の変更に伴い、下記項目において、エスアールエルセントラルラボラトリーにて実施している検査の「分画子：病理専門医によるレビュー」または「分画子：医師による判定」の病理専門医名が変更となります。

検査項目 一覧 掲載頁	項目 コード	検査項目
184	専依	エストロゲンレセプター（IHC）
		プロゲステロンレセプター（IHC）
		エストロゲンレセプター/プロゲステロンレセプター（IHC）
未掲載		乳癌HER2タンパク（IHC）4B5
184		乳癌HER2遺伝子（FISH）